

魂のラストステージ

世界的にその名を轟かせる中国の国宝級ダンサー、ヤン・リーピン。本作は2008年、2010年に日本で上演され、大好評を博した彼女の代表作。中国・雲南省の少数民族に伝わる民族歌舞から構成され、その野性味あふれるエネルギーなダンスと高い芸術性で熱狂的に世界に迎えられた。

名作「シャングリラ」をヤン・リーピンが踊るのは本公演が最後となる。伝説の名作、踊る精霊のラスト・ダンスを絶対にお見逃しなく！



4月9日(土)ー4月17日(日) Bunkamura オーチャードホール

好評販売中

【チケット料金(税込)】S:¥12,000 A:¥9,000 B:¥6,000

【お問合せ】Bunkamura 03-3477-3244 (10:00~19:00)

●Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999 <オペレーター 10:00~17:30>

●オンラインチケット MY Bunkamura **MY Bunkamura** 検索 (PC・スマホ共通)

●Bunkamuraチケットカウンター <Bunkamura1F 10:00~19:00>

●TBSオンラインチケット <http://www.tbs.co.jp/event/ylp2016>

TBS シャングリラ 検索 (PC・スマホ共通)

<その他プレイガイド>

●チケットぴあ

●イープラス

●ローソンチケット

4月	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	土	日	月	火	水	木	金	土	日
12:00									
13:00									
17:00									
19:00									

<http://w.pia.jp/t/ylp2016/> (PC・携帯・スマホ共通)

0570-02-9999 <コード448-125>

<http://eplus.jp/ylp2016/> (PC・携帯・スマホ共通)

<http://l-tike.com/ylp2016/> (PC・携帯・スマホ共通)

0570-084-003 <コード33659>

0570-000-407 <オペレーター 10:00~20:00>

<ご注意> ※未就学児童入場不可。※営利目的でのチケットの購入、並びに転売は固くお断り致します。

<取扱いプレイガイドにしまして> ※0570で始まる番号は、一部の携帯・IP・CATV接続電話、PHSからはご利用できません。※音声自動応答での受付番号は、ダイヤル回線からのご利用はできません。

ヤン・リーピンの シャングリラ

踊る精霊 最後の舞



4月9日(土)ー4月17日(日) Bunkamura オーチャードホール

好評販売中

Bunkamura チケットセンター (10:00~17:30)

03-3477-9999

TBS シャングリラ 検索

【チケット料金(税込)】S:¥12,000 A:¥9,000 B:¥6,000

芸術監督・構成・主演:ヤン・リーピン(楊麗萍) / 出演:ヤン・リーピン歌舞団 主催: TBS / Bunkamura / Albax 後援: 中国大使館 / BS-TBS

美しい時代へ

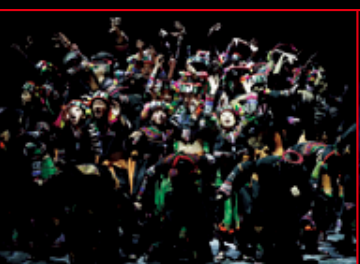
東急グループ



天にも届きそうな高く力強い歌声と、日々の暮らしから生まれた躍動的なダンス。彝族、ハニ族、チベット族など、中国雲南省の少数民族に伝わる伝統歌舞を、現地の若者たちが弾けそうな笑顔とパワーで歌い踊る。自らも雲南省ペー族出身のヤン・リーピンが、山深い村々を一年半かけて訪ね歩き、存続の危機にある各地の芸能を調査・収集。歌や踊り自慢の若者をスカウトし、「原生态(=ありのまま)」にこだわって舞台に再現した『シャングリラ』は、牧歌的な”民族芸能”のイメージを覆す圧倒的な迫力で、観る者の魂を揺さぶる。

卓越した構成力で各歌舞の魅力を引き出すリーピンは、自身は雲南のシンボル孔雀の化身となるオリジナル舞踊「孔雀の精霊」で登場。細くたおやかな肢体をしならせ、優雅で神秘的な孔雀になり切るその舞姿は、一度観たら忘れられない、唯一無二の美しさだ。そんなリーピンが『シャングリラ』で踊るのは、今回が最後になるという。雲南の大自然が生んだ奇蹟の舞姫の最高傑作を、しかとこの目に留めておかなければ。

伊達なつめ(演劇ジャーナリスト)



楊麗萍(ヤン・リーピン)芸術監督・構成・主演。雲南省大理(ペー族)出身。1971年、西双版纳(シーサンパンナ)歌舞団に入団。1986年、彼女の制作・主演で行われた一人舞台「孔雀の精霊」の成功により一躍有名となる。1990年北京で開催されたアジア協議大会閉会式でもこの踊りを披露し、世界中から衆目を集めることとなる。その後、彼女は多くの国との芸術交流を積極的に行い、これまでにアメリカ、ヨーロッパ、フィリピン、シンガポール、ロシア、カナダ、台湾など世界各国で公演を行っている。また監督、主演を務めた映画「太陽の鳥」では、モントリオール世界映画祭審査委員特別賞を受賞。

